



## 平成26年ハブクラゲ発生注意報

猛毒を持つ、ハブクラゲが生息し、一年の内6月初めころから人体に及ぼす大きさに急激に成長します。この時期は、海水浴、マリンレジャー等で海への出入りが多く、刺症被害も多く発生します。

平成25年は、ハブクラゲ等海洋危険生物による刺咬症被害は、201件の内103件(約51%)がハブクラゲによるものです。そのうち67件(約65%)がハブクラゲ防止ネットの外(又はネット未設置)で発生しています。

ハブクラゲに刺された場合は、落ち着いて対処し、

- ① まず海からあがり激しい動きをしないで、近くにいる人に助けを求めましょう。
- ② 刺された部分はこすらずに、酢(食酢)をたっぷりかけて触手を取り除いた後、氷りや冷水で冷やしましょう。
- ③ 応急処置をし、医療機関で治療を受けるようにしましょう。

**ビーチ管理者は、今一度、新人スタッフ教育して下さい。またハブクラゲ侵入防止ネット内の刺症事故が発生しない様にネット管理を徹底しましょう。**

水難事故発生状況

	発生	死者数	行方不明
県民	7	5	0
観光客	5 (1)	0	0
米軍人	1	0	0
総数	13	5	0

(2014年6月9日現在)

( )は、中学生以下  
お問い合わせは、[support@omsb.jp](mailto:support@omsb.jp)まで  
事務局